

純真学園大学

学生向け生成 AI 利活用ガイドライン

令和 8 年 4 月 1 日

1. はじめに

近年、ChatGPT に代表される生成 AI（Generative AI）は、学習や情報収集を支援する新しいツールとして急速に普及しています。本学では、生成 AI の利活用を一律に禁止するのではなく、学生一人ひとりの学修の質を高めるために、適切に活用することを基本方針としています。

一方で、本学は医療系大学であり、将来医療従事者となる学生には、高い倫理観と責任ある行動が求められます。生成 AI は便利な道具である反面、使い方を誤ると、自ら考える力を損なったり、医療倫理や学術的誠実性を損ねたりする恐れがあります。

本ガイドラインは、学生の皆さんが生成 AI を「考える力を支える補助ツール」として安全かつ有意義に活用するための基本的な考え方とルールを示すものです。

2. 生成 AI でできること・できないこと

生成 AI は、学修を補助する目的で利用する場合に限り、その活用が認められます。

利用してよい例として、授業内容の要点整理、専門用語の理解補助、レポート構成の検討、学習内容の復習や理解確認などが挙げられます。

一方、生成 AI が作成した文章や解答をそのまま提出する行為、試験問題や課題の解答を求める行為、実際の患者情報や臨床実習で得た情報を入力する行為は認められません。

3. 学生が必ず守るべき基本ルール

学生は生成 AI を利用する際、次に掲げる事項を必ず遵守してください。

- ・生成 AI の出力をそのまま自己の成果物として提出しない。
- ・患者の個人情報、診療情報、実習に関する情報を入力しない。
- ・教員の許可なく、試験や成績評価の対象となる課題に使用しない。
- ・生成 AI を利用した場合は、定められた方法により申告する。

4. レポート・課題での利用および申告方法

学生は必ず担当教員の指示に従い、生成 AI の利用にあたっては、レポートや課題の末尾に、次の事項を記載してください。

- ・使用した生成 AI の名称

- ・利用目的
- ・利用した箇所
- ・出力内容をどのように確認・修正したか

記載方法の詳細については、科目担当教員の指示に従ってください。

5. 臨床・臨地実習における注意事項

臨床・臨地実習においては、生成 AI の利用に特に慎重な対応が求められます。

実際の患者情報を入力することは厳禁であり、医療判断や医療安全に関わる目的で生成 AI を使用してはなりません。

症例学習等を行う場合は、教科書や公開資料等の架空または十分に匿名化された情報のみを用いるものとします。

6. 情報の正確性および著作権への配慮

生成 AI は、事実と異なる情報を出力する可能性があります。医療に関する内容については、必ず教科書や学術論文などの信頼できる資料で確認してください。

また、生成 AI の出力には著作権上の問題が含まれる可能性があるため、出力結果をそのまま公表・提出することは避け、必要に応じて適切な出典表記を行ってください。

7. 相談窓口

生成 AI の利用方法について不明な点がある場合や判断に迷う場合は、事前に相談してください。

授業や課題に関する事項については担当教員または教務係、実習や倫理に関する事項については指導教員、技術的な事項については庶務課（情報担当）が相談窓口となります。

8. おわりに

生成 AI は、正しく利用すれば学修を深める有用なツールとなりますが、不適切な利用は学生自身の成長や将来の医療者としての信頼を損なうことにつながります。

本ガイドラインを十分に理解し、生成 AI を主体的な学びを支える補助的な道具として、責任をもって活用してください。